

事業所名

キッズハウスにじ

支援プログラム

作成日

2024 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念	どんなハンデキャップがあろうとも、子どもたち一人ひとりの個性と捉え、将来、全ての子どもたちが役割を持ち、生きがいを感じながら社会の一員として暮らしていく力を習得できる療育を実践していきます。子どもたちの生きづらさを少しでも改善したい、という想いをもとに、発達に特性を持つ子どもに効果的な、脳機能向上を目指したプログラムを提供しています。		
支援方針	有限会社松本プランニングが開設するキッズハウスにじ（以下「事業所」という。）が行う指定児童発達支援事業および指定放課後等ディイサービス事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するため、人員及び管理運営に関することを定め、事業所の従事者が通所給付決定保護者及び障害児に対し、適正な児童発達支援および放課後等ディイサービスを提供することを目的とする		
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none">日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得定期的な心身の把握(利用時の観察・面談、個別対応等)衛生の支援、指導(手洗い、消毒、感染症の予防)危険回避の指導(避難訓練、火災訓練、地震や水害を想定した訓練)食育(クッキング、おやつ作り等)	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none">感覚の特性への対応(リズム遊び、感覚教材、散歩、公園遊び、マット等色々な道具の使い方等)姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上(集団・個別療育) トランポリン、マット運動、ラダー、ビジョントレーニング、コーディネーション運動等	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none">友達や職員との活動や遊びの中で、適切な行動を習得する(認知の偏りに配慮する)ルールや守る必要性がある物の認知や理解を促し、実践する(遊び、公共での行動等)空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定を行う(スケジュールや時間の視覚化等)	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">挨拶や場面に応じた言葉遣い、人の相互作用による言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーション能力の獲得コミュニケーション手段の活用(SST・発表する機会等)友達や職員との関わりの中で、話を聞いたり思いを伝える事が出来るようにしていく	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none">友達や職員とのルールある活動や関わり等を通して、人の関わり方や接し方を学び、交代、順番等のルールを守り主張したり合わせたり仲良く遊べるようにしていく自己理解や他者理解への支援(SST、社会体験等)気持ちのコントロールや切り替え、折り合いを付ける練習をしていく	
家族支援	保護者面談の時間を6か月に1度設け、相談があればその都度、話し合いの時間を設けます。療育の様子を連絡帳や写真・動画等で保護者と連携する事により、不安や心配事を取り除いていきます。	移行支援	必要に応じ、保護者に了承を得た上で、小学校や保育園など、送迎時に担任の先生に小学校や保育園での様子をうかがい、双方での日々の様子の情報交換を行います。
地域支援・地域連携	お子様の成長を見据え、関係機関等と顔の見える連携を図り情報共有を行う中の役割分担を明確にしていきます。	職員の質の向上	定期的な職員研修を行い、資料等を基に勉強会を行っています。 職員会議(療育内容確認や行事確認・反省等)を行っています。
主な行事等	長期休暇等、学校休業日にお出かけやクッキングなどのイベントを実施しています。 季節の行事(夏まつり・ハロウィン・お月見・クリスマス等)を行っています。		